

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2024.04.30

京大病院医療安全情報144

【 死亡診断書の直接死因の記載 】

2023年度に報告書を受理した医療安全調査委員会（外部委員含む）報告書から各診療科に共通する内容を共有します。

事例

手術を受けて退院を予定していた患者が退院の数日前に死亡された。解剖や死亡時画像診断は実施せず、診断書に直接死因「急性心不全」と記載され、夜間に死亡退院された。医療法に基づいて、医療に関連する予期せぬ死亡事例として調査を実施した。

事例調査にて明らかになったこと

1. 死因を明らかにする検査がなされなかった

急な循環不全にてごく短時間の間に医療者の目前で心停止に至りました。直ちに急変対応しましたが、心拍は再開しませんでした。数日前に深部静脈血栓症は血管エコーにて否定されていたため、急変時に肺血栓塞栓症を疑いませんでした。ご家族は病理解剖を希望されませんでした。

2. 死亡診断書が適切に記載されれば、解剖につながった可能性がある

より正確な死亡診断書作成のために、後日の死亡診断書発行を原則としている医療機関や、予期せぬ院内死亡に関しては全例診療科長の確認を必要としている医療機関もあります。2019年1月から、死亡診断書交付後であっても、厚生労働省に連絡の上、死因を変更できることとなりました。国としても、適切な統計情報を収集するために体制を変更されています。

死因に関して不安があれば、医療安全管理室にも対応を相談してください。病理解剖の説明を主科の医師と一緒にいき、病理解剖の同意につながった事例も何度も経験しています。当初は病理解剖に反対されていた家族も、病理解剖に同意されて病理解剖を実施後、死因が分かってよかったとして感謝されることも多く経験しています。

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報144

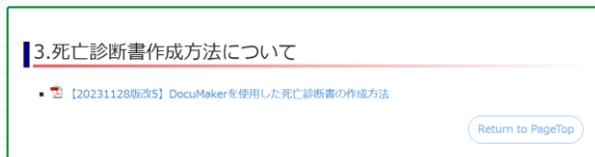
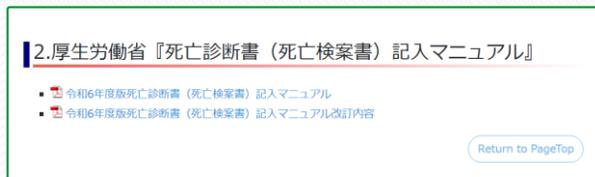
【死亡診断書のシステムを見直しました】

【Step1】複写式の手書きの死亡診断書から、電子カルテ内の死亡診断書作成に変更しました。（2023年11月）

⇒ 医療安全管理室が死亡診断書の死因を確認できます。

【Step2】「直接死因が不明で、医療関連死が疑われる場合、死亡診断書発行を保留し、医療安全管理室と相談すること」を死亡診断書記載マニュアルに追記します。

⇒ 「医療事故」の届け出対象となる可能性があります。



各種マニュアル関係

- ・ 病棟業務マニュアル（汎用版）
- ・ 検査マニュアル
- ・ 検査容器一覧
- ・ MEセンター：中央管理機器一覧
- ・ 医薬品安全使用のための業務手順書
- ・ 他科受診時診療科個別ルール
- ・ 一般撮影所見記載マニュアル
- ・ 免疫チェックポイント阻害剤の副作用
- ・ 脳死下臓器提供について
- ・ 児童虐待対応マニュアル
- ・ 退院支援が必要な場合のしんりゆ供
- ・ 供書記載例

患者死亡時マニュアル

- ・ 在宅療養指導管理料マニュアル
- ・ 医療器材部マニュアル（洗浄・滅菌・ター編）
- ・ 医療器材部マニュアル（材料編）

右側部分を入力する

死亡診断書（死体検案書）

令和 年 月 日

死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル

【重要】直接死因が不明で、医療関連死が疑われる場合、死亡診断書発行を保留し、医療安全管理室と相談すること

死亡診断書（死体検案書）
二重線の記載必須！！
編集⇒『/』斜め線⇒死体検案書の上に線を2本入力してください。
プリントアウト後の記載でもOK。